

市議会議員として仕事をさせていただき6年目を迎えることが出来ました。現在本市は新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動との両立という、かつて経験したことの無い課題に直面しています。この間、議会においても様々議論してまいりましたが、仙台市民の皆さんの「当たり前の日常」を少しでも早く取り戻すことが出来るよう、今後とも真摯に活動していきたいと思ひます。ご意見等ございましたらお寄せください。



▲ 常任委員会副委員長として

令和2年 | 第3回定例会 民主フォーラム仙台代表質疑

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みについて

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行という可能性がある中で、これまで以上に検査体制や医療体制等を拡充していかなければなりません。



▲ 令和2年 第3回定例会代表質疑

Q
沼沢

インフルエンザ罹患者を相対的に減らし医療機関の負担軽減を図るためにも、インフルエンザ予防接種助成の対象の拡大を。

A
健康福祉局長

ワクチンの供給量に限りもあることから、優先的に摂取すべき方が摂取の機会を逸することがないように、周知に努めていく。

Q
沼沢

医師が必要であると判断した場合に保健所を介さず直接予約し検査をすることができる本市独自のPCR検査センターの設置を。

A
健康福祉局長

まずは独自にPCR検査を行うことができる診療所の確保を図りながら、引き続き関係機関とも協議を重ね、必要な検査体制の充実に努めていきたい。

Q
沼沢

行政検査を担当する衛生研究所の負担軽減のため、人員体制の拡充と検体のバーコード等による管理体制導入を。

A
健康福祉局長

検体数の増加に応じた検査体制整備のため、必要な人員配置に努める。

2. 市役所業務のICT化について

コロナ禍において民間企業ではテレワークの推進などICT化が加速度的に進んできていますが、しかし多くの自治体には波及していません。

Q
沼沢

仙台市役所業務のICT化を加速度的に進めるため、市長の目的意識と強いリーダーシップを求める。

A
市長

現在ICT利活用方針の改定に取り組んでおり、今後ICTの一層の利活用を全庁挙げて行い、市民サービスの向上に努めてまいります。

一歩前進!!

令和2年11月に仙台市はデジタル化ファストチャレンジを発表し、押印廃止やスマートフォン申請、オンライン会議などに順次取り組む方針が示されました。

3. 市民会館と音楽ホールの整合性について

音楽ホール構想の議論より先に、まずは築47年が経過する市民会館の今後の在り方について方向性を示しておくべきです。

Q
沼沢

音楽ホールと市民会館の将来的な整合性について整理し、市民の皆様にも明らかにしておくべき。

A
市長

現在市内ホール施設の体系整理を行っており、市民会館の在り方についてもその中で鋭意検討を進めていきたい。

一歩
前進!!
人

令和2年11月に発表された音楽ホール整備に伴う市内ホール体系の整理において、市民会館と戦災復興記念館については今後更新を行わず音楽ホールに集約される方針が示されました。

その他質疑項目

- ◎学校におけるICT学習環境整備について
- ◎生田小学校赤石分校の跡施設利活用について
- ◎夜間保育支援について
- ◎仙台市基本計画中間案について 等

令和2年 | 第3回定例会 決算等審査特別委員会

消防費 各種ハザードマップの周知について

昨年度まで防災タウンページとして全戸配布していましたが、今年度は事業者側の方針で部数を縮小せざるを得ず全戸配布は行えませんでした。



▲仙台防災ハザードマップの全戸配布を

Q
沼沢

防災ハザードマップについては市民の認知度も上がってきていることから、来年度以降は改めて全戸配布を復活させるべき。

A
危機管理監

冊子の利便性も考慮し、配布時期や配布部数など検討していきたい。

令和2年 | 第2回定例会 一般質問

公立保育所におけるおむつの処理方法の改善について

Q
沼沢

現在は保護者の持ち帰りとなっている公立保育所のおむつの処理方法について、負担解消の観点からも保育所での処理を実現すべき。

A
市長

感染拡大防止の観点からも大変有効なものと認識する。公立保育所におけるおむつの一括処理の実施に向け検討を進める。

一歩
前進!!
人

この質問を機に、令和3年度からのおむつの保育所処理の実施に向けて、子供未来局にて課題の洗い出しが進んでいます。

その他の質問項目

- ◎コロナ禍における経済支援策
- ◎先を見据えた観光施策 等

令和2年 | 第1回臨時会 新型コロナウイルス感染症関連補正予算等審査特別委員会

Q

沼沢

厳しい経済状況の中にある地元企業への支援の一環として、本市発注業務の前倒しや納期の柔軟な対応など、全庁を挙げて取り組むべき。

A

契約課長

本市経済の下支えや雇用維持といった観点も持ち、発注先となる企業の動向等も踏まえながら状況に合わせて適切に行ってまいりたい。



▲新型コロナウイルス感染症関連補正予算等審査特別委員会

その他質疑項目

◎PCR検査体制の拡充

◎学校休校中における学びの環境確保

◎フェーズに応じた経済施策

◎市長自身による情報発信の強化 等

令和2年 | 第1回定例会 予算等審査特別委員会

市民費 地区集会所建設等補助金について

Q

沼沢

平成30年度より地区集会所におけるエアコン単体の整備も助成の対象となったが、これまでの執行率は0%である。周知方法に問題があるのではないか。

A

市民局長

周知について丁寧さを欠いた部分があった。今後は必要な情報が町内会にきちんと届くように工夫してまいりたい。

改善!!

この質問の後、各区役所ホームページや町内会活動の手引きなどにおける交付対象事業に「配管工事を伴うエアコンの設置工事」が加えられ周知が図られています。

令和元年 | 第4回定例会 一般質問

1. ひとり親家庭における養育費確保支援について

本市において養育費を定期的を受けていると答えた母子家庭は28.5%にとどまっています。養育費の受け取りは子どもの権利であり、行政として支援に取り組む必要があります。

Q

沼沢

ひとり親家庭と養育費を保証する民間保証会社との契約時の保証料を助成する制度を創設し、養育費の確保支援に取り組むべき。

A

市長

養育費の取り決めが行われ、確実に継続的に受け取りができるよう、必要な支援策の充実に努めてまいりたい。

実現!!

令和2年度より「仙台市養育費保証契約保証料補助」として事業がスタートし、申請も来ています。多くのひとり親家庭につながるよう、周知に努めていきます。

2. 郡山ポンプ場の再整備について

名取川と広瀬川の下流域となっている郡山地区は合流式下水地区でもあり慢性的に内水被害が多発している。抜本的解決のためには雨水と汚水を一手に引き受ける郡山ポンプ場の機能強化が急務です。



▲運用開始から50年が経過した郡山ポンプ場

Q
沼沢

運転開始から50年が経過した郡山ポンプ場は、敷地の狭さからいまだ耐震化すらなされていない。建てかえや場所の変更も含め、本格的な検討に着手すべき。

A
建設局長

郡山ポンプ場の負荷を軽減するため、諏訪町ポンプ場の工事を進めている。工事完了後、郡山ポンプ場の再構築を計画し排水能力増強について検討してまいります。

3. 旧笹川下流域における溢水対策について

平成27年関東東北豪雨に続き、令和元年東日本台風でも旧笹川下流域が溢水し、床上浸水などの甚大な被害が出ました。理由は旧笹川樋門にポンプ場がまだまだ整備されていないことにつきます。



▲旧笹川下流域にて発生した災害廃棄物

Q
沼沢

平成27年にも旧笹川樋門へのポンプ場整備について質問したが、改善が図られないまま被害を繰り返したことに強い憤りを覚える。あらためて河川管理者である県に対し強く要請するよう求める。

A
市長

排水ポンプ車の増強など災害対応の強化について国に強く要望するとともに、国、県とも連携を図りながら、排水機場の整備も含め、旧笹川下流域の水害対策について取り組む。

一歩前進!!

令和2年10月よりポンプ場の整備に向け、国・県・市による「旧笹川流域総合治水対策調整会議」が設置され協議が始まりました。整備実現につながるよう引き続き声を上げていきます。

実際の質疑の様子は
仙台市議会HPで
ご覧いただけます▶



皆さんの声

お聞かせください!!

MAIL shinya@numachan.jp
TEL. 022-304-2066
FAX. 022-304-2067

令和3年度 仙台市予算要望を提出

会派「民主フォーラム仙台」の政調会長として予算要望を取りまとめ、①新型コロナウイルス感染症への早急な対応②復興の残された課題の着実な達成③子どもの命を守る教育(いじめ問題・不登校)と次世代支援④地域経済の活性化と雇用の確保(政調案)⑤安全・安心なまちづくり⑥防災・減災および持続可能な環境に配慮したまちづくり⑦行財政改革と都市インフラの最適化の7本を柱とする94項目の要望書を市長に提出しました。



▲令和3年度予算要望

仙台市議会議員(太白区) 沼沢しんや

◎役職

都市整備建設常任委員会副委員長
子育て環境充実調査特別委員会副委員長
スポーツ市議の会幹事
民主フォーラム仙台政調会長

◎プロフィール

昭和56年2月24日生まれ。東北学院大学経済学部卒。
2015年仙台市議会議員選挙初当選。現在二期目。

◎連絡先

〒982-0006 仙台市太白区東郡山2-1-2
TEL: 022-304-2066 FAX: 022-304-2067
Email: shinya@numachan.jp

ホームページは
こちら

